

大腸がん検診を受けられた方へ



少量の便を2日分採取して、便中の血液の有無を調べる検査です。血液が混じていた場合は「要精密検査」となります。1日分のみに血液が混ざっていた方でも、精密検査の結果「がん」が発見された方もあります。

大腸がんは年々増加しており死亡原因の上位になっていますが、早期発見により、98%以上**が治ります。

「痔があるから」、「便秘だから」と自己判断してそのままにしている方は要注意です。必ず精密検査を受けましょう。

また、1年以内に内視鏡等の検査を受けた方は、精密検査の必要性について主治医にご相談ください。

** 出典：がんの統計 '21「全国がん（成人病）センター協議会加盟施設における5年相対生存率（2011～2013年診断例）」

がん検診を受けられた方へ



あなたが受けた検診について、次の説明文をよくお読みください。

- ・医療機関での詳しい検査が必要な方を「要精密検査」としています。
- ・自己判断せず、必ず医療機関で精密検査を受けましょう。
- ・受診の際は、同封の「主治医様宛封筒（紹介状）」をご持参ください。

かかりつけ医のある方は、まずは主治医に相談しましょう。病気によっては、検診で早期に発見することが困難な場合もあります。検診で異常がなくても、自覚症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

* 検診結果は、「健康診査結果票」をご確認ください。

* 肺がん・結核検診は、別途「結果通知書」をご確認ください。

問い合わせ：健康推進課（0772-69-0350）

前立腺がん検診を受けられた方へ

PSA値	判定	内容
1.000 以下	異常なし	今回の検査値は正常範囲内でした。検診後2年以内にがんが発見される率は非常に少ないといわれています
1.001～4.000 まで	要経過観察 (精密検査不要)	検査値は、正常範囲ですが、やや高めの値です。定期的に検診を受けましょう。
4.001 以上	要精密検査	検査値が高い値です。お渡しした主治医宛の封筒（紹介状）を持参し、必ず医療機関（泌尿器科）を受診しましょう。

以下の症状がある場合は医療機関（泌尿器科）を受診してください。

前立腺肥大症の可能性がります。

- ☆ 尿がすぐ出ない・少ししか出ない・出始めてから時間がかかる
- ☆ 尿が出た後にも残っている感じがある
- ☆ トイレが近くなり、夜中に何度もトイレに行く

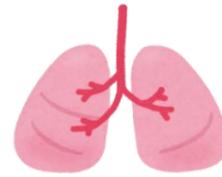
肺がん検診を受けられた方へ

肺がんやその他の胸部疾患を調べるための検査です。毎年受けるようにしましょう。
医療機関で検査をされた方は、医療機関で経過をみてもらってください。

検診結果	結果の見方
異常なし	異常所見を認めません。来年も検診を受けましょう。
精検不要	所見はあるが精密検査は不要です。来年も検診を受けましょう。
要精密検査	精密検査が必要な所見があります。お渡しした主治医様宛の封筒（紹介状）を持参し、必ず医療機関を受診しましょう。

以下の方は肺がんまたは肺の病気にかかる危険性が高まります。
毎年必ず、肺がん検診（胸部レントゲン）を受けましょう。

- ◆喫煙をされている方
- ◆過去に石綿（アスベスト）に関する作業をしたことがある方
- ◆65歳以上の方（高齢の方で結核にかかる方が増えています）



胃がん検診を受けられた方へ

毎年、要精密検査になる方がおられますが、同じ検査結果（※）だと自己判断せず、必ず医療機関を受診し精密検査を受けましょう。

（※）慢性胃炎の疑い、胃潰瘍^{ほんこん}癒痕の疑い等

繰り返し要精密検査となる方は、バリウム検査の受診の必要性について
主治医に相談しましょう。



子宮頸がん検診を受けられた方へ



精密検査が必要な方には主治医様宛封筒（紹介状）、
経過観察が必要な方には「子宮頸がん検診受診票」を同封しています。

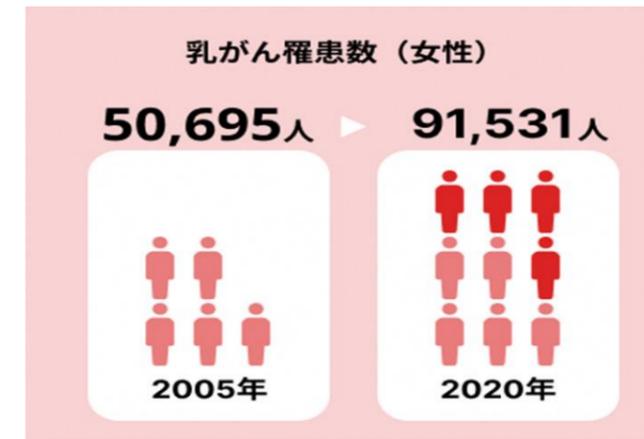
子宮頸がんは、前がん状態（異形成）を経て「がん」になるため、定期的に検診を受ける
こと、医療機関での経過観察を続けることが、がんの早期発見につながります。

特に20～30代で見つかる方が増えてきています。今回の結果が「要精密検査」であつた方は、必ず医療機関を受診しましょう。

乳がん検診を受けられた方へ

乳がん検診は、マンモグラフィー検査により診断しています。

精密検査が必要な方には、主治医宛の封筒（紹介状）及びマンモグラフィーのフィルム、
近隣医療機関の診療案内を同封しています。



乳がんは女性が患うがんの中で最も多いがんです。
2020年のデータでは、生涯に乳がんを患う女性は9人に1人と推定されています。

乳がん患者の約7割は、自分で「しこり」を見つけたというデータもあります。
今回の結果が「異常なし」であった方も、月に1回の自己検診をしましょう！

** 出典：公益財団法人 日本対がん協会